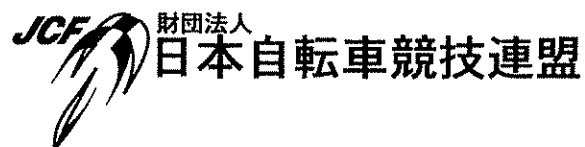
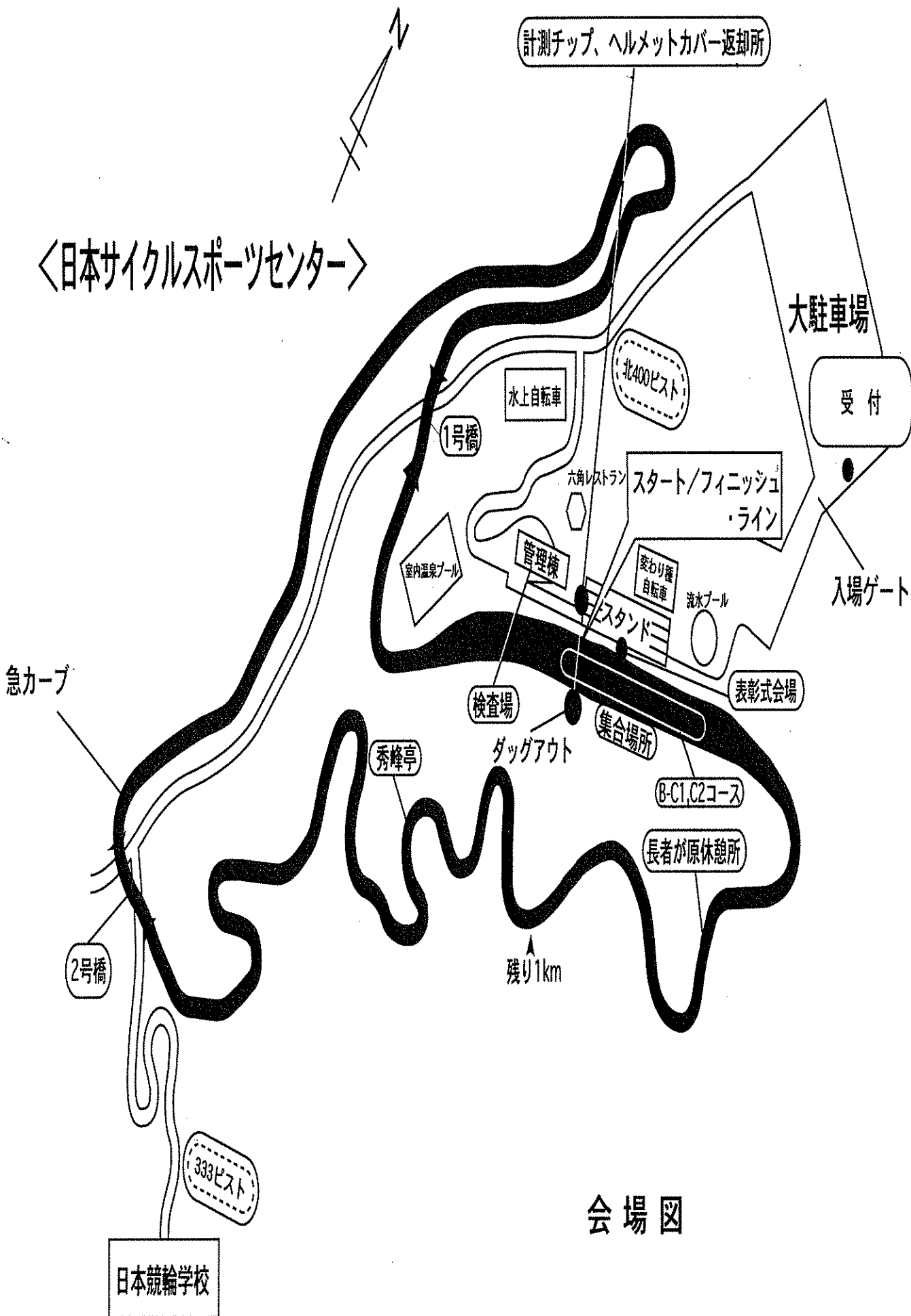


第34回チャレンジサイクルロードレース大会

参加競技者への注意

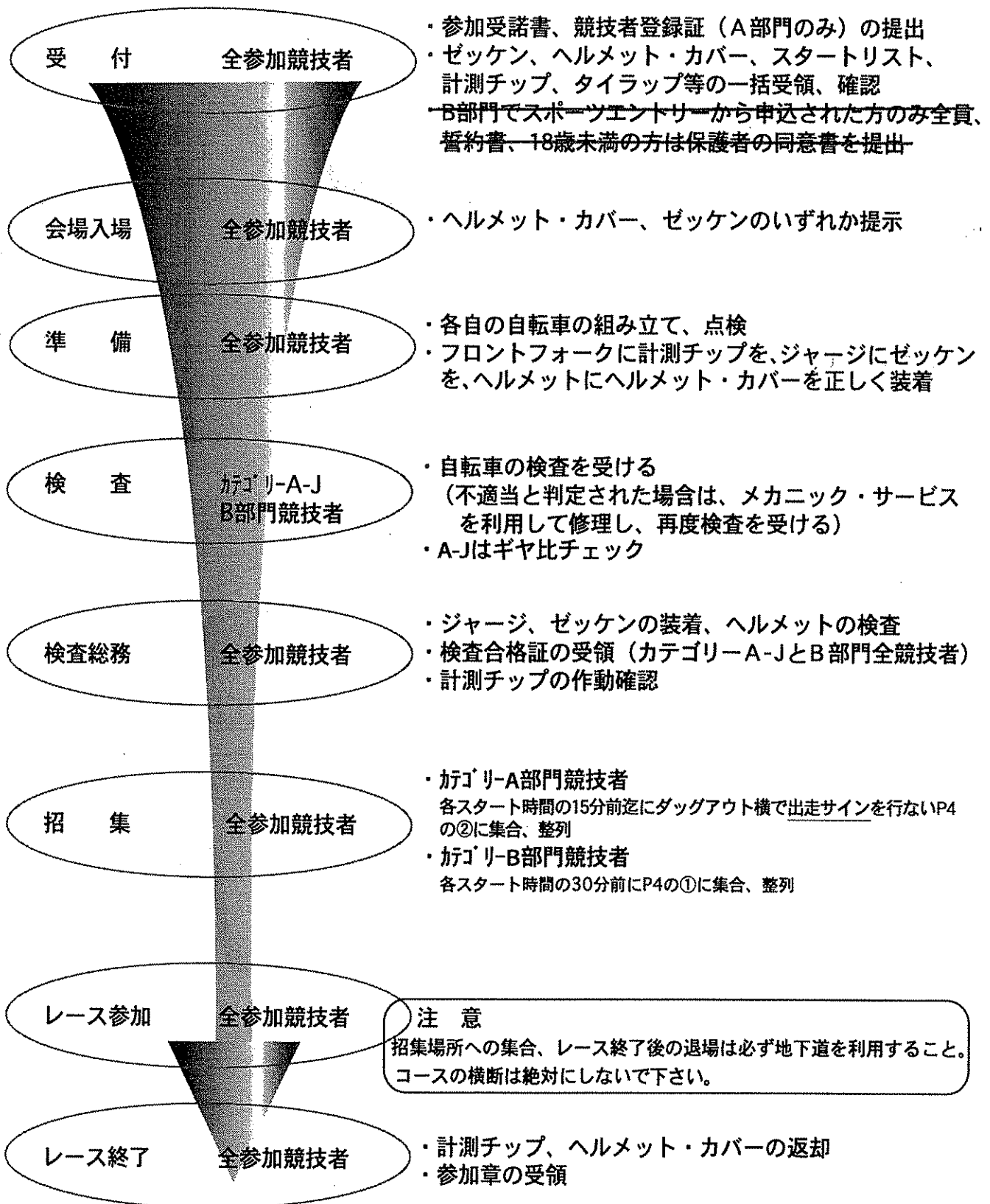


〈日本サイクルスポーツセンター〉



会場図

参加競技者の手続略図

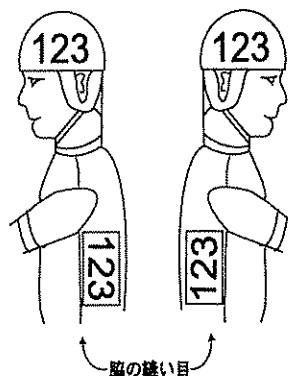


第34回チャレンジサイクルロードレース大会の実施にあたり、この競技会を安全、公正に運営するために、参加競技者は、実施要項および次の各項を熟読し、よく理解して、レースに臨んで下さい。

レース開始前の諸手続き

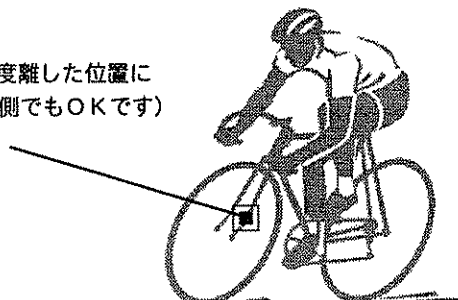
1. 受付で、「参加申込受諾書」および「競技者登録証」(カテゴリーA部門参加者のみ)を提示。
2. 参加競技者に渡されるものは、ゼッケン、ヘルメット・カバー(通行証といたしますので出入の際必ず持参し提示して下さい)、計測チップ、スタート・リストです。特にゼッケン、ヘルメット・カバー、計測チップに誤りがないかよく確認して下さい。(ヘルメット・カバー、計測チップはレース終了後必ず返却して下さい。ヘルメット・カバー、計測チップを返却時に参加章を授与します。ゼッケンは記念としてお持ち帰り下さい。)
3. 着替えは、随意行って下さい。
4. カテゴリーA-JとカテゴリーB部門参加競技者は「検査係」で自転車の検査を受けて下さい。レースで使用することを不適当と判定された場合は、メカニック・サービスを利用して修理し、再度検査を受けて下さい。特にリムセメントは、大会2、3日前に点検し、充分塗布するようにして下さい。「スピナッチ」、「ティラミス」等のエクステンション・バーと「デルタ」、「ブルホーン」、「トライアスリート用ハンドル」その他の変則的な形状のハンドルは使用できません。
5. レースに着用するジャージの左右両側に、受領したゼッケンを正しく付けて下さい。ゼッケンが定位置についていないと順位の判定が困難になりますので、正確にとりつけて下さい。

※ゼッケンの下辺がジャージの脇の縫い目にくるように



6. 受付時にゼッケンとともに自動計測システムのチップセット(チップ、タイラップ2本)をお渡しします。チップに貼られているご自分のお名前を確認してから、図の位置に確実に固定し、取付け後の余分なタイラップは切り取って下さい。

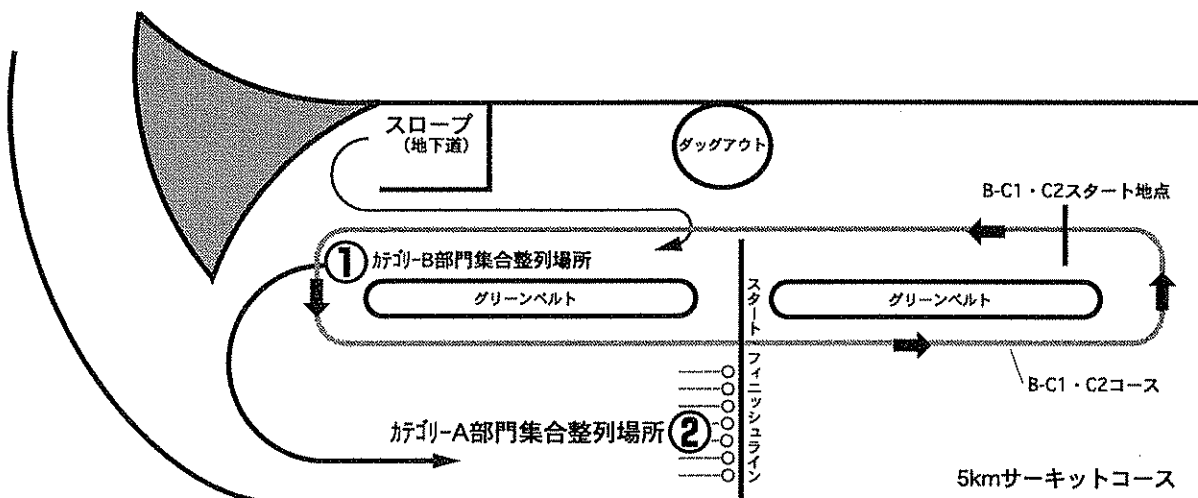
計測チップはハブから上に15cm程度離れた位置に確実に装着して下さい。(左右どちら側でもOKです)



7. 以上の手続きを終了した参加競技者は、全員「検査総務係」で次のとおりの出場最終確認をうけて下さい。
- A. 検査合格車への検査合格証の貼付
(カテゴリーA-JとB部門参加競技者全員)
 - B. ジャージの検査
 - C. ゼッケンの装着位置の検査
 - D. ヘルメットの検査 (JCF公認ヘルメット以外は不可)
 - E. 計測チップの動作確認
- 上記の確認を受けていない場合は、たとえ完走しても失格となりますので十分注意して下さい。
8. 手続きをすべて完了した参加競技者は、招集の案内があるまで待機して下さい。
(場内放送に注意)
9. 参加競技者以外はコースの中には入れません。

招集とレース開始 (レースの安全のために)

1. 招集員によって招集が開始されたときは、速やかに下図の集合整列場所 (カテゴリーB部門①、カテゴリーA部門②) に集合し、役員の指示に従ってゼッケン番号順に整列して下さい。



2. カテゴリーB部門参加競技者は上図①地点にゼッケン順に横10列に並び (第1列がゼッケン1~10、第2列11~20以下同様) ②地点に向かってフライングスタートします。
②地点が正式のスタートラインですので、この地点までに乗車姿勢を完全に整えて下さい。
3. カテゴリーA部門参加競技者は②地点に集合整列しスタートします。
4. カテゴリーB部門はスタートライン通過後も危険防止のため、1号橋 (スタート地点から約500mの地点で、最初の上り坂の始まる所) 通過後まで、審判車によるスピード規制と隊列規制を行ないます。この間、10列の状態のままで進行していただきます。審判車の指示を守り、絶対に隊列を乱さないで下さい。みだりに追い越しを行った競技者はその場でレースから除外します。これは参加者全員の安全を守るための非常に重要な措置ですので、厳守して下さい。1号橋を通過した後が実際のレースです。

レース中の注意

レースは日本自転車競技連盟競技規則および大会特別規則によって実施します。主な点を抜粋いたしますので、よく理解して参加して下さい。

第1条（競技者の義務）

競技者は、次のことを守らなければならない。

1. 競技規則および競技の運営、管理上の規定および交通規則を順守すること。
2. 大会中に引き起こした事故について一切の責任を負うこと。
3. 常にスポーツマンとしての言動を保持すること。
4. 常に完全に整備された自転車を用いて競技大会に参加すること。

第2条（競技者の装備）

競技者の基本的装備については、UCI規則に準じ以下のとおりとする。

1. 競技者は、レース参加時には袖付きのジャージと短いパンツを着用する。ワンピース形式も認められるが、袖なしは禁止する。
2. レース時と公式行事中には、ジャージの表示やゼッケンを隠すような衣類を着用してはならない。ただし、雨具は透明あるいはジャージと同じ外観であれば許容する。
3. レース中のみならず、練習において本連盟公認のヘルメットの着用を義務付ける。

第3条（競技者の権利）

すべての競技者は、相互に飲食料、工具、部品等の提供、交換等の協力を行うことができる。他の競技者を押すことは、あらゆる場合に禁止し、違反の場合は失格とする。

第4条（ゼッケンとヘルメット・カバー）

1. 競技者は、常時明瞭に見えるようにゼッケンおよびヘルメット・カバーをしっかりと付けなければならない。ゼッケンは折り曲げたり、切ったりしてはならない。
2. ゼッケンおよびヘルメット・カバーは主催者が用意し、受付にて発給する。
3. 失格（1周遅れ他）や棄権した競技者は速やかにゼッケンを外し、ヘルメット・カバーを返却しなければならない。

第5条（出走確認）

1. スタート前にカテゴリーB部門に出場する競技者は、自転車、ジャージ、ゼッケン、ヘルメットの検査を受け、検査合格証を受領する。
2. カテゴリーB部門に出場する競技者は、各々のスタートする30分前までに、カテゴリーA部門の競技者は、各々のスタートする15分前までに、指定された集合場所にて待機する。
3. 競技役員は、スタート・ラインに現れた競技者が、規則に則した準備（自転車、服装、ゼッケン等）をしているか確認する。

第6条（スタート）

1. カテゴリーB部門は集合場所から隊列を整えてスタート／フィニッシュ・ラインへ向かってフライング・スタートする。
2. カテゴリーA部門はスタート／フィニッシュ・ラインからスタンディング・スタートする。
3. スタート合図は、ピストルで行う。
4. スタートは、スターターが行い、彼のみがスタートの正当性を判定できる。

第7条（競技者の順守義務）

1. 競技者は、いかなる場所でも、食料、ボトル、衣類等いかなる物も、路肩に安全に置く以外は、投棄してはならない。
2. ガラス製容器の携帯、使用は禁じる。
3. 失格または棄権した競技者は、直ちにゼッケンおよびヘルメット・カバーを外して競技役員に手渡すか、返却所に戻す。失格または棄権した競技者は、フィニッシュ・ラインを通過してはいけない。
4. 競技者は、自転車を運びあるいは押して、徒歩でフィニッシュすることができる。

第8条（飲食料の補給）

スタート時に本人が携行する以外は、第三者からの補給は認めない。

第9条（故障時の修理）

レース中の位置にかかわらず、競技者が故障の修理をする時は、集団の後方で停止状態で行わなければならない。

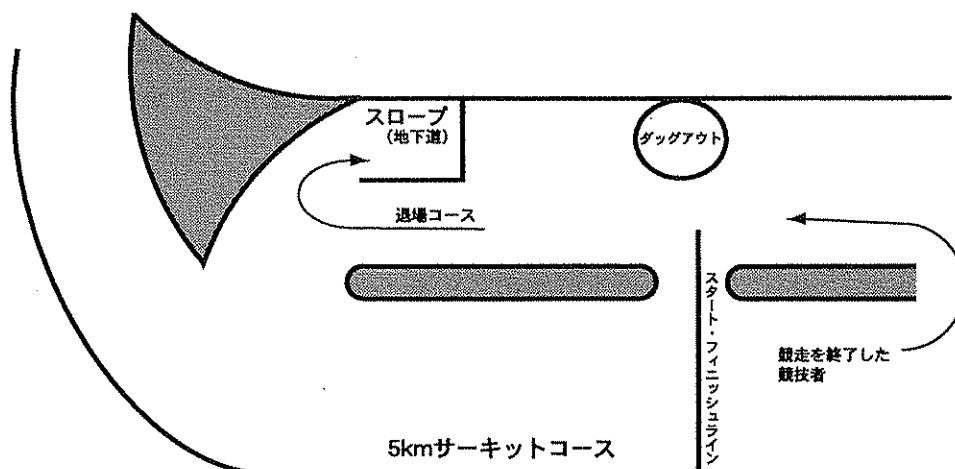
第10条（レースからの除外）

本大会では原則として、次に該当した競技者は失格とし、レースから除外する。

- (1) 先頭競技者が、2号橋を通過した時点で、秀峰亭に達していない競技者。
- (2) 先頭競技者が、秀峰亭を通過した時点で、コース最高地点（長者が原休憩所）に達していない競技者。

レース終了

1. 退場は、入場時に使用したスロープを下り、地下道を通して下さい。



2. ヘルメット・カバー、計測チップを「ヘルメット・カバー、計測チップ返却所」(メインスタンド上部通路/1ページ会場図参照)に返却して下さい。
「返却所」にはタイラップ切断用のハサミを用意していますので、フィニッシュしたらそのまま「返却所」へお越し下さい。
3. ヘルメット・カバー、計測チップを返却時に参加章を授与いたします。
4. 各種別ごとに順位が決定次第にただちに表彰(A部門:6位まで、A-Fは更にジュニア3位まで、B部門:10位まで)を行いますので、場内放送に注意し、メイン・スタンド・バルコニーの表彰式場付近に待機して下さい。

その他

1. 「ご利用案内」とコースの試走

参加競技者は大会前までに日本サイクルスポーツセンター管理棟2階の「5kmサーキット、マウンテンバイクご利用案内」を必ずご覧下さい。

また、同コースを走行した経験のない方は大会前に少なくとも1回は試走することをお勧めいたします。

なお、試走のためにコースを開放(4月4日15:30~17:00)しますので、参加申込受諾書を入り口ゲートで提示してご利用下さい。

2. 会場への交通機関

東海道線「三島駅」乗換、伊豆箱根鉄道「修善寺駅」下車、

東海バス「サイクルスポーツセンター」行終点(約20分、片道480円/大人)

サイクルスポーツセンター線時刻表(2008.04.01改正)

修善寺駅前10番線発

8:20、9:10、10:20、11:15、13:00、13:50

サイクルスポーツセンター発

10:42、11:37、13:22、14:12、15:04、16:04、17:09

※詳細については東海バス修善寺営業所(0558-72-1841)にお問い合わせ下さい。

3. 個人情報保護について

参加申込書にご記入いただきました個人情報は本大会実施にあたり参加通知、大会案内等の送付、リザルト作成等大会に必要な業務のみに使用いたします。ただし、公的な司法機関（裁判所、警察署等）から開示の要請があるなどやむを得ない場合はこの限りではありません。また、大会で撮影した写真等の肖像権は主催者に帰属する旨をご了承ください。

4. その他

- (1) 日本サイクルスポーツセンターの大会当日の開門時間は午前7時30分です。
- (2) 本大会参加競技者に限り、日本サイクルスポーツセンターの入場は無料となりますので入口でヘルメットカバー、ゼッケンを提示のうえ入場して下さい。また、付き添いの方は同封した入場優待券、入場割引券をご利用下さい。
- (3) レースに際して安全管理のためJCF公認ヘルメット（公認シール貼付のもの）、手袋の着用が必要ですので、当日各自で必ず持参して下さい。
- (4) 実施要項の本連盟競技規則内の着装とは、宣伝広告に類する標示（国内外の自転車、部品メーカー等の社名、製品名、クラブ名等を含む）がなされていない服装のことです。ただし、自分の所属するクラブ名の入ったものは差し支えありません。
- (5) ダッグアウトの裏ならびにコースの最後の上り坂の手前のガケを上り下りしてレースを観戦に行く方がいますが、大変危険なうえ、ガケの崩壊にもつながりますので、絶対にやめて下さい。
- (6) 参加競技者は必ず各自で傷害保険に加入して下さい。
- (7) 健康保険証を当日必ず持参して下さい。
- (8) 場内での自転車走行は、他のお客様に迷惑となり、たいへん危険ですので、絶対にやめて下さい。
- (9) 各自、自分の健康には充分注意し、万全の状態で開催に参加して下さい。
- (10) 計測チップを返却されなかった場合は後日、大会事務局より製作費 5,000円を請求させていただきますので、必ず所定の場所にご返却下さい。
- (11) 各自、ゴミはお持ち帰りくださいますようご協力下さい。

以上の各項をよくお守りいただき、楽しい、意義のある競技会となるよう、参加の皆さんのご協力をお願いいたします。